



★ キリストにおける一致 ★



さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたに勧める。みな語ることを一つにして、お互の間に分争がないようにし、同じ心、同じ思いになって、堅く結び合っていてほしい。
(1 コリント 1:10 口語訳)

2026年7月18日 第3課
キリストにおける一致



さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。
皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。
(1 コリント 1:10 新共同訳)

2026年7月18日 第3課
キリストにおける一致

コリントの信徒たちに挨拶し、彼らの霊的な成長を称えた後、パウロはその教会を悩ませている問題の第一、すなわち一致の欠如について語り始めます。

コリント人への手紙をはじめ、パウロが書いた他の書簡を通じて、この問題（今日の教会にも影響を及ぼしうる問題）を解決するための指針が、パウロによってどのように示されているかがわかります。

最初から明らかなことが一つあります。それは、教会における一致は人間の努力によって達成されるものではないということです。イエスに目を向けることによってのみ、私たちは一致を成し遂げることができるのです。



- ➡ 不和を引き起こす問題：
 - ➡ 教会における派閥の問題
- ➡ 団結を維持する方法：
 - ➡ イエスを中心として
 - ➡ 知恵と成熟
 - ➡ キリストのように仕える
 - ➡ 十字架を反映する生き方



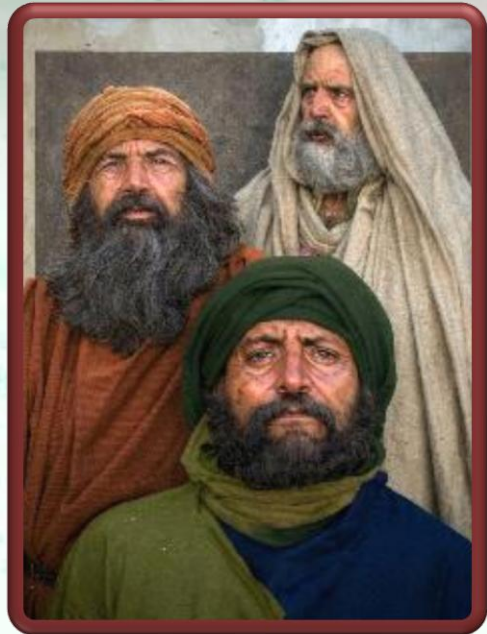


不和を引き起こす問題

教会における派閥の問題

さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたに勧める。みな語ることを一つにして、お互の間に分争がないようにし、同じ心、同じ思いになって、堅く結び合っていてほしい。

(1 コリント 1:10)



コリントの教会には、どのような分裂があったのでしょうか（1コリ1:12）？

コリントにはさまざまな指導者が訪れており、信者たちはそれぞれお気に入りの説教者（パウロ、アポロ、ペテロなど）を持っていた。このことが、信者たちの間で争いを引き起こすほどになっていた（1コリ1:11）。

彼らは、自分たちが皆、同じメッセージを説いていることに気づかずに、本質とは無関係な点にばかり注目していた（1コリ3:5-8）。



次第に、教会の生活にも影響が及んできた（1コリ3:3）。一致の欠如は、主の晩餐の祝いを歪めてしまった（1コリ11:33）。さらには、互いに法廷で訴え合うことさえあった（1コリ6:1）。



1:12 はっきり言うと、あなたがたがそれぞれ、「わたしはパウロにつく」、「わたしはアポロに」、「わたしはケパに」、「わたしはキリストに」と言い合っていることである。**1:13** キリストは分かれているのだろうか。パウロがあなたがたのために十字架につけられたのだろうか。あるいは、あなたがたはパウロの名によってバプテスマを受けたのだろうか。**1:14** わたしは、クリスポとガイオと以外には、あなたがたのなかでだれにもバプテスマを授けなかったことを、神に感謝している。**1:15** それは、あなたがたがわたしの名によってバプテスマを受けたのだと、だれにも言われなかったためである。**1:16** ステファナの家族には、またバプテスマを授けたが、そのほかにはだれにも授けた記憶がない。**1:17** キリストがわたしをつかわされたのは、バプテスマを授けるためではなく、福音を宣べ伝えるためであった。それも、キリストの十字架がむなしくならないように、言葉の知恵によらないで宣べ伝えるためであった。

1:18 十字架の言葉は、滅びゆく者には愚かであるが、救われるわたしたちには、神の力である。**1:19** すなわち、「わたしは知者の知恵を滅ぼし、賢い者の賢さを無くしよう」と書いてある。**1:20** 知者はどこにいるのか。学者はどこにいるのか。この世の論客はどこにいるのか。神はこの世の知恵を、愚かにされたではないか。**1:21** 神の 知恵において、この世は自分の知恵によって神を知ることができなかった。そこで神は、宣教の愚かさによって、信じる者たちを救うことをよしとされたのである。**1:22** ユダヤ人はしるしを求め、ギリシヤ人は知恵を求める。**1:23** しかしわたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝える。このキリストは、ユダヤ人にはつまずきとなり、異邦人には愚かである。**1:24** しかし、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、召された者には、キリストは神の力、神の知恵である。**1:25** なぜなら、神の愚かさは人間よりも知恵があり、神の弱さは人間よりも強いからである。**1:26** 兄弟たちよ、あなたがたが召された時のことを考えてみるがよい。人間的には、知恵のある者が多くはなく、権力のある者も多くはなく、身分の高い者も多くはいない。**1:27** それなのに神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選び、

I コリント 1:12～27を読み直し、派閥が教会の一致にとって非常に危険であることを理解するうえで、この箇所がいかに関与するか、考えてみてください。この問題を避けるために、あなたの所属する教会は何ができるでしょうか。



団結を維持する方法

イエスを中心として

神は真実な方である。あなたがたは神によって召され、御子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに、はいらせていただいたのである。(1 コリント 1:9)

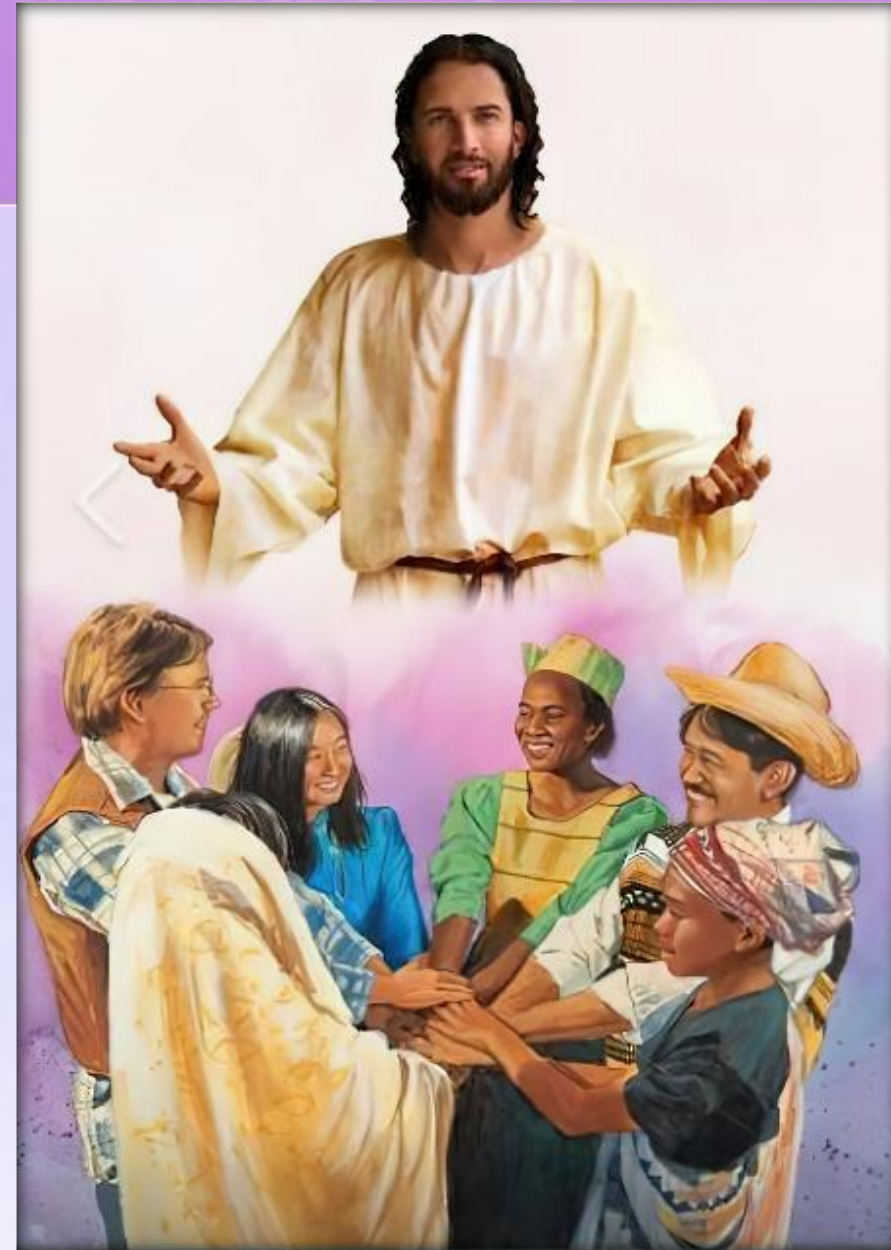
「キリストは、いくつにも分けられたのか。パウロは、あなたがたのために十字架につけられたことがあるのか。それとも、あなたがたは、パウロの名によってバプテスマを受けたのか。」(1コリ 1:13)。パウロはこれらの問いを通じて、彼らに深く考えさせようとしているのです。

一致は、イエスを私たちの主として受け入れることによってのみ実現されます。一致は、兄弟姉妹の考えや思想に固執することや、閉鎖的なグループを形成することによって実現されるものではありません。

しかし、イエスにおける一致とは、画一性ではありません。それは、私たち全員がすべてのことについて同じように考えるということでも、全員が同じように行動することでもありません。

些細な意見の相違や、一人ひとりが持つ異なる賜物も、キリストを中心としているならば、不和を生むのではなく、むしろ一致をもたらすのです(1コリ12:12-13、25、27)。

教会における一致は、自己を捨て、イエスのために生きることによってのみ実現される。



ここ数十年の間、セブンスデー・アドベンチスト
教会の一部では、少人数グループによる
聖書研究が重視されてきました。

「派閥」と「少人数グループ」の違いは
何でしょうか。

少人数グループが派閥化しないように、
どうすれば注意を払うことができるでしょうか。

知恵と成熟

兄弟たちよ。わたしはあなたがたには、霊の人に対するように話すことができず、むしろ、肉に属する者、すなわち、キリストにある幼な子に話すように話した。(1 コリント 3:1)

パウロは、未熟なクリスチャンを「キリストにある子供たち」や「肉的な者」と呼んでいます(1コリ3:1)。こうしたクリスチャンは、イエスよりも人々に目を向ける傾向があります。

一部の指導者に過度な重要性が与えられ、他の指導者が軽視されると、教会を分裂させるような派閥が形成されます。これは未熟さの結果です。

それゆえ、パウロは私たちに、キリストにおいて成熟するよう招いています(1コリ2:6)。

未熟な



彼らはまるで子供の
ようなものです
(1コリ3:1)



彼らは乳を糧として
いる (1コリ3:2)



彼らは肉的な者たち
である
(1コリ 3:3)



彼らは他人の意見に
左右されてしまう
(1コリ 3:4)

成人向け



彼らは大人なのです
(1コリ 14:20)



彼らは固い物を食べる
(ヘブ5:14)



それらは霊的なもの
です (1コリ2:13)



彼らには霊的な識別力
がある
(1コリ 2:14)

これまで、尊敬していた人に
がっかりさせられた経験はありますか。

もしそのような経験があるなら、
そこからどのような教訓を得ましたか。

キリストのように仕える

このようなわけだから、人はわたしたちを、キリストに仕える者、神の奥義を管理している者とするがよい。(1 コリント 4:1)

今日と同じように、1世紀の人々もまた、政治的、哲学的、宗教的、その他の信念によって分断されていました。このような考え方が教会に浸透し、分裂を招くのを、どうすれば防ぐことができるでしょうか。



指導者の姿勢は重要な役割を果たします。教会の指導者は、自分たちが「管理者」としての役割を明確に認識しなければなりません。彼らは教会の所有者ではなく、単にキリストのために教会を管理しているに過ぎないのです。

教会の指導者はイエスであり、他のすべての者は「キリストの僕」として教会を導く(1コリ4:1)。

仕える者は、その主の振る舞いに倣って振る舞わなければならない。すなわち、常に謙虚に自らを捧げて他者のために仕える姿勢を保つことである(ピリ2:3-8)。

もし、指導者だけでなく、すべての信徒がこのように行動したら、教会にはどのような一致が生まれるでしょうか？



フィリピ（ピリピ） **2:5～8** のメッセージを、
祈りつつじっくり考えてください。

4:1 こういうわけですから、人はわたしたちを
キリストに仕える者、神の秘められた計画を
ゆだねられた管理者と考える べきです。 **4:2** この
場合、管理者に要求されるのは 忠実であることです。
この箇所は、私たちに対する神の自己否定的な
愛について、どんなことを教えていますか。
いかにして自己に死に、この愛に倣って
生きることが出来るでしょうか。

十字架を反映する生き方

この場合、管理者に要求されているのは、忠実であることである。(1 コリント 4:2)



指導者をめぐる対立や派閥の存在は、私たちが彼らを拒絶すべきだという意味ではありません。それどころか、パウロはアポロの奉仕とコリントでの働きを支持し、擁護しました。
(1 コリ 3:5-6、4:6、16:12)

指導者が忠実に務めを果たすとき、彼らは称賛に値する(1 コリ 4:2、1 テモ 5:17)。しかし、たとえその称賛を受けられなくても、彼らを裁くべきは人ではなく神ご自身であることを知っているからこそ、彼らは忠実であり続けるのである(1 コリ 4:3-4)。



フランクとウォルター・ボンドは、スペインで最初の宣教師でした。ウォルターは1914年、ハエンで信仰のために殉教しました。

クリスチャンの指導者たちは、兄弟姉妹のために喜んで苦難を受け入れ、必要とあれば、その奉仕のために命を捧げることも厭わないことで、イエスの足跡をたどっている」
(1 コリ 4:11-13、II コリ 11:23-28)。

指導者も教会員も、互いに争ったり議論するために召されているのではなく、イエスを賛美し、十字架の福音を宣べ伝えるために一致するよう召されているのです。



教会でのあなたの役割がどうであれ、
あなたはキリストのためにどれほど
苦しみを受けてきましたか。
あなたの答えから、どのような教訓が
得られるでしょうか。

「教会における完全な一致を完成させることができるのは、キリストのような寛容の精神以外にはありません。サタンは不和の種をまくことができますが、対立する要素を調和させることができるのはキリストのみです……。教会の個々の働き手であるあなたがたが、神を何よりも愛し、隣人を自分自身のように愛するとき、一致を図るための不自然な努力は不要となり、キリストにおける一致が生まれ、告げ口をする耳は閉ざされ、誰も隣人に対して非難の言葉を口にすることはなくなるでしょう。教会の会員たちは愛と一致を大切にし、一つの大きな家族となるでしょう。そうすれば、私たちは、神が御子をこの世に遣わされたことを証しする証しを、世に示すことになるのです。」